

平成28年1月の思いやり通信



ビル エネ消費半減 大成建設、空調や照明効率化

センサーで人の動き感知

大成建設は、空調などのエネルギー消費量を従来より半減させたビルを2018年をめどに実用化します。センサーを活用し、空調や照明を効率的に運用します。製造現場などに比べオフィスビルなどの建物はエネルギーの削減余地が大きくあります。

2018年をめどに年間10棟以上の建設を目指します。コストは従来のビルに比べ2割程度高くなる見込み。

鹿島は、空気の流れを天井に沿わせるように遠くまで飛ばす新たな空調システムなどを利用し、従来より35%減の省エネビルを建てます。

竹中工務店も2016年3月に改修を終える千葉市の支店で地中熱や太陽光発電も活用し、省エネビルとします。

(2015年12月9日 日本経済新聞記事から抜粋)



地球温暖化 今世紀末、最大で4度超上昇

国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によると、世界の平均気温は1880年から2012年までに0.85度上昇。このままのペースで温暖化ガスの排出が続けば、今世紀末には気温上昇は最悪で4度を超えるとする予測もあります。

(2015年12月15日 日本経済新聞記事から抜粋)

